

Tヘッド工法鉄筋

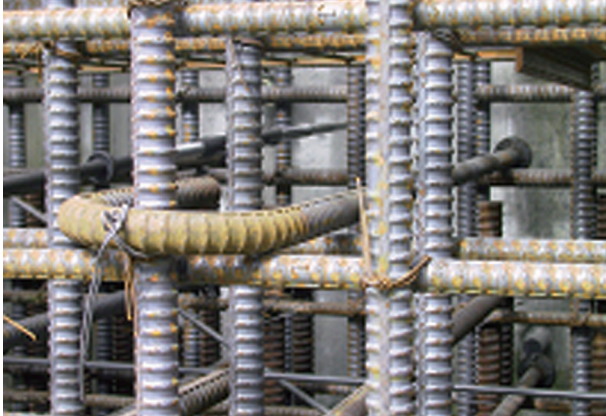
第一高周波工業株式会社

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-6-2

TEL 03-5623-3739 FAX 03-5649-3724

URL http://www.dhf.co.jp/

[拠点] 鉄筋京浜生産課 (TEL.044-288-4676)、鉄筋関西営業課 (TEL.078-944-0322)、鉄筋九州営業課 (TEL.093-642-7001)



せん断補強筋の使用状況



梁主筋定着での使用状況

概要

本技術は、コンパクトな定着体を用いた機械式鉄筋定着工法で、従来は半円形フックなどの定着方法で施工されていたが、近年鉄筋が集中して高密度配筋となりコンクリートが充填しにくくなった。Tヘッド工法は、そうした問題を解消し、構造物の鉄筋組立の施工性及びコンクリートの充填性の向上が期待できる。

基本仕様

- ・ TH25の場合
径：D13～ D51
材質：SD295～ SD490
- ・ THL の場合
径：D13～ D25
材質：SD295～ SD390



TH25 (左) と THL (右)

特長

1. 配筋の施工性・コンクリートの充填性・耐震性向上
2. 配筋作業の迅速化（工期短縮）・低価格化
3. 熱間加圧成形による一体成形品
4. 竹節・ネジ形状を選ばない
5. 優れた疲労性能と低温引張性能

使用用途

TH25の場合：横方向鉄筋、軸方向鉄筋、疲労を受ける部材
THL の場合：横方向鉄筋、塑性化を考慮する部材

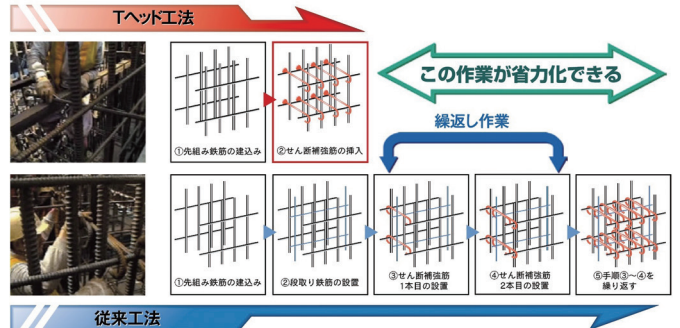


従来工法とTヘッド工法の配筋状況比較

施工工程

Tヘッド工法鉄筋による現場での鉄筋組立ステップの例として、「先組み鉄筋の建込み」をして、「せん断補強筋の挿入」をするのみである。Tヘッド工法鉄筋拡張部を被拘束鉄筋に引掛けて結束するだけで、熟練度を必要としない。

【Tヘッド工法と従来工法の工程比較】



適用対象および施工実績

適用対象は、適用効果の高いBOXカルバートのせん断補強筋を始めとした、建築物の柱・梁・スラブ・壁、地上及び地下タンク、トンネル、鉄塔基礎などであり、採用件数は1110件に及ぶ。また、標準フックをTヘッド工法鉄筋に置き換えるだけなので設計変更・設計の見直しは不要である。